

テーマ名	新型コロナウイルス感染症対策について（ワクチン接種）
<p>現状・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月10日時点の12歳以上人口に占める1回目の接種率は88.5%、2回目は82.5%となっており、約8割の方が2回の接種を終えているところ。 <p>県の対策（方向性）</p> <p>（1・2回目未接種の方の接種機会の確保）</p> <ul style="list-style-type: none"> 未接種の方で接種を希望される方々や新たに12歳を迎える児童が、各市町村において円滑に接種を受けることができるよう、県医師会や医療局等と連携し、接種体制を維持確保できるよう調整していくとともに、そのために必要となるワクチンについては、市町村間の融通調整を通じて確保し、継続的な接種体制を支援。 <p>（医療従事者接種）</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月から開始する3回目接種については、国において、住民接種を基本としながら、医療従事者接種を併用する枠組みを示しており、県医師会と調整のうえ、市町村が主体となって接種を実施。 県では、市町村が計画的な接種体制を構築することができるよう、医療従事者接種の対象者について医療機関と市町村との間で情報共有する仕組みを構築したほか、12月以降、ワクチンの市町村間の配分調整を実施。 <p>（3回目接種）</p> <ul style="list-style-type: none"> 来年の2月及び3月には、8か月を経過した3回目接種の対象者が高齢者中心となることから、円滑な接種体制の構築について、今後、市町村や関係団体と協議・調整を実施。 <p>（県による集団接種）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県による集団接種については、市町村の接種見込者数やワクチンの供給状況、異なる種類のワクチンを接種する交互接種の実施見通しなどを踏まえ、今後、必要な検討を行う。 <p>（国への要望）</p> <ul style="list-style-type: none"> 現時点で、国からはワクチンの中長期の供給見通しや国による財政措置の見通しが示されていないところであるが、県としては、市町村が計画的かつ円滑に接種を進めることができるよう、全国知事会と連携し、国に対し、安定的なワクチン供給や全額国費による財政措置を継続するとともに、これらの方針を早期に示すよう要望していく。 	